【日本医科大学付属病院　がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： OVA-106

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応
卵巣がん（再発）	PLD療法	28日間	6コース	■ 進行/再発 □ 術後補助化学療法 □ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他

催吐リスク	根拠
軽度	J Natl Cancer Inst 96: 1682-91, 2004

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
①	デキサート 生理食塩液	6.6mg 50mL	点滴静注	30分	↓																											
②	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	5分	↓																											
③	ドキシル 5%ブドウ糖液	50mg/㎡ 500mL	点滴静注	120分	↓																											
④	5%ブドウ糖液	50mL	点滴静注	5分	↓																											

＜注意事項/備考＞

- ✓ プラチナ抵抗性再発時に使用
- ✓ Infusion reaction：点滴開始と同時に、解熱鎮痛薬+抗ヒスタミン薬を内服
- ✓ PLD：5%ブドウ糖液で希釈し、1mg/minを超えない速度で投与
- ✓ PLD：90mg未満でも、5%ブドウ糖液500mLに希釈（主科と取り決め）
- ✓ PLD：総投与量500mg/m²以上で、心毒性のリスク増大
- ✓ 手足症候群：PLDで生じやすく、3コースまでに起こる頻度が高い。しびれ、疼痛、色素沈着など